
断片小説

紫羽月桜鈴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

断片小説

【Nコード】

N2155P

【作者名】

紫羽月桜鈴

【あらすじ】

1つ1つのシーンを1つだけ書いた断片小説。

まず始めに・・・

まずはじめに…？

作者が思いついた1シーンのみの小説。

こーゆーのがだめな人は回れ右で。

もし、断片小説の中から連載、もしくは短編小説にしてほしいという声がありましたら、希望者のご期待に添えられるよう頑張ります。

なお、一つ一つが断片小説ですので、似たような内容がありまして、苦情などの感想は受け付けません。

また、断片ですから、一つ一つのジャンルも、すべて異なります。詳しいジャンルなど知りたい方は、感想などでお知らせください。ファンフィクションの作品も書くかもしれませんが、なるべく原作として入れると思いますが、入りきらなくなったら、キーワードなどに入れると思います。

いろいろと大変でしょうが、ご了承ください。

ではオツケーな方は次からお楽しみを…

痛み（前書き）

グロ注意

痛み

痛い。

痛いんだ。

体中がざわめき、血が暴れ、思考までもが暴走を始めた。

「なんだ なんなんだよっ!!」

そばにいるガキは淡々と言う。

「そうだね。見てる僕も痛いなあ・・・」

嘘だ。

苦しむ俺を見て笑ってるおまえに、痛みがわかる筈がない!!

・・・そうだ、こいつを殺れば俺は楽になるだろうか？

おぞましいこの感情に身を任せれば、らく、に

「だめだよ、まだ楽になっちゃあ。それじゃおもしろくないじゃん。もう少し、我慢だよ?」

「ふざけるなっ」

ちくしょう!!

痛みとか、慣れてたと思ってたから、こいつに憑いてきたのに!!!
こんな、はずじゃ

・・・だめだ、もう・・・

「・・・あーあ。もうギブアップか。つまんないの」

誰も僕には耐えられないのかな。

独りは寂しいって言うから、みんなの相手してあげてるのに・・・。

「これじゃあ僕の方が寂しくなるじゃん」

さっきの男は、面影さえ残っていないほどにバラバラだ。
血と、骨と、肉だけ。

赤い血だから、きっと元は人間だったんだろうな。

僕は無表情にその場から離れる。

「バイバイ、おにーいさん♪」

ぬいぐるみ

少女が抱く、ほこりをかぶったくまのぬいぐるみは、泣きそうな表情で笑っている。

少女も、この悲劇の中で、何が楽しいのか笑っている。

そんな壊れた少女の世界には何が残っているのだろう…。

きつと、大層なものは残っていないのだろう。

両親に使用人たちの死体ばかりが床を埋めつくしている屋敷で独り、狂ったように笑う少女、レイラ。

ただ人が死んでいるばかりの静かな家に響いていたレイラの声は、突然ぴピタリと止まった。

かわりに彼女の絶叫が響いた。

必死に目の前の悲劇をなかったことにするために。

叶うことはない、知っていても……。

あれから数年後。

彼女は美しい大人へと育った。

だが、心だけは酷く歪んだままで体だけが大きくなってしまった。

綻びたところを直すこともされなかったぬいぐるみを、今でも大事そうに抱えて……。

壊れたようにずっと笑いながら、骨になってしまった両親と使用人たちと。

ずっと

ずっと

ずっと……

仲良く、暮らしたそうです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2155p/>

断片小説

2011年10月7日21時41分発行